

第 5 号様式（第 7 条関係）

会議録

会議の名称	平成 28 年度清須市地域包括ケアシステム推進委員会（在宅医療介護連携推進部会）
開催日時	平成 28 年 7 月 6 日（水） 午後 1 時 30 分から
開催場所	清須市役所清洲庁舎 2 階 202 会議室
議 題	1 開会 2 報告 （1）「きよすレインボーネット」利用状況について 3 議事 （1）「きよすレインボーネット」規約について （2）平成 28 年度在宅医療介護連携推進事業について 4 その他 5 閉会
会議資料	資料1 清須市地域包括ケアシステム推進委員会設置要綱 資料2 清須市地域包括ケアシステム推進委員会委員名簿 資料3 「きよすレインボーネット」利用状況について 資料4 「きよすレインボーネット」利用規約 資料5 尾張中部医療圏在宅医療・介護連携推進協議会について 資料6 清須市地域包括ケアシステムについて
公開・非公開の別 （非公開の場合は その理由）	公開
傍聴人の数 （公開した場合）	0 人
出席委員	加藤（裕）委員、島野委員、加藤（高）委員、山口委員、三原委員、福島委員、室田委員、伊東委員、葛谷委員

欠 席 委 員	なし
出 席 者 (市)	林部長
事 務 局	森川課長、楢本主幹、山田課長補佐、木全副主幹 高木係長、太田主事、地域包括支援センター柴垣係長、飛永主査
会 議 の 経 過	<p>●事務局</p> <p>1 開会</p> <p>ただいまから「平成28年度清須市地域包括ケアシステム推進委員会」を始めさせていただきます。私は、本日の進行役を務めさせていただきます、高齢福祉課長の森川です。よろしくお願いいたします。</p> <p>会議に入る前に、委員の皆様にあらかじめご承知いただく事項として、清須市では附属機関等の会議の公開に関する要綱を定めており、附属機関等の会議及び会議録は原則公開することになっておりますので宜しくお願い致します。</p> <p>本日の傍聴者は、お見えになりませんので、宜しくお願い致します。</p> <p>それでは、次第に沿って会議を進めさせていただきます。</p> <p>最初に、開会にあたりまして、健康福祉部長の林よりご挨拶を申し上げます。</p> <p><部長挨拶></p> <p>ありがとうございました。それでは、着席して進めさせていただきます。</p> <p>委員の紹介についてですが、お手元の委員名簿「資料2」にて委員紹介に代えさせていただきます。</p> <p>また、オブザーバーとして、西名古屋医師会在宅医療サポートセンターのコーディネーターであります高田さんに出席して頂いておりますので、宜しくお願い致します。</p> <p>職員等についても、名簿に記載しておりますので、ご参照ください。</p> <p>次に、議事に入りますが、議事進行につきましては、設置要綱第6条第4項の規定により部会長が議長になることになっておりますので、議事進行につきましては、加藤部会長に議長をお願いいたします。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>◎部会長</p> <p>皆様、お忙しい中、またこの蒸し暑い中、お集まりいただきましてありがとうございます。</p> <p>議事進行にあたり、本日の会議録署名委員に、加藤（高）委員と山口委員を指名させていただきたいと思っておりますので、宜しくお願い致します。</p> <p>それでは、ただ今から「報告」に入らせていただきます。</p> <p>報告（1）から、事務局より説明を、よろしくお願いいたします。</p>

●事務局

<事務局説明>

(1) 「きよすレインボーネット」利用状況について

◎部会長

モデルケースに関しては、3件のままということですが、ただいまの説明に何か質問・意見があればいただきたいと思います。

○委員

「レインボーネット」を使ってみて、いかがですか。

○委員

私個人の私見ですが、当初は面と向かって話がしにくいという内容が書かれるかと思いましたが、そういうわけでもないと思いました。これで使い慣れてきて「LINE」のようにみんなが使うようになれば、もう少しスムーズに使えるようになるのでは、と思っています。コンピューターを持って動いてみえるかどうかですとか、アクセス数も何とか増えてくるかですとか、もう少し経過を見ていくことが必要だと思います。ただ、ちょっとした連絡は、ご本人を介さずにできるので、便利かと思っています。

◎部会長

つぎに、議題(1)に移りたいと思います。事務局より説明をお願いします。

●事務局

<事務局説明>

(1) 「きよすレインボーネット」利用規約について

◎部会長

利用規約の新旧対照表が載っていますが、ただいまの説明に何か質問・意見があればいただきたいと思います。

2市1町、北名古屋市、清須市、豊山町と、旧西春日井が統合してやっていくというようなことですがよろしいでしょうか。

そうしましたら、「レインボーネット」は清須市民が利用していただければ市外事業所であっても、地域包括ケアに関する事業所であれば、その事業所も登録することができるということによろしいでしょうか。

○委員

<全員承認>

◎部会長

それでは、そのように規約の改正をお願いします。つぎに、議題(2)に移りたいと思います。事務局より説明をお願いします。

●事務局

<事務局説明>

(2) 平成28年度在宅医療・介護連携推進事業について

◎部会長

今、尾張中部医療圏の地域包括ケアに関するサポートセンター、医師会、歯科医師会、薬剤師会の3師会が協働して進めているのですが、そのあたり中心的に動いて見える委員さんの方からご発言をいただきたいと思います。

○委員

今、事務局が説明された通りですが、資料5を開いていただきたいと思います。資料5の地域包括ケアシステムの構築の4本の柱があります。「医療と介護の連携」、そして「認知症支援の充実」と「高齢者の居住に係る施策」と「生活支援サービスの充実」がありますが、後の3つは、2市1町で足並みをそろえると言いますが、それぞれの市町で重点項目が多少違いますので、こちらは各市町にやっていただき、主にこの「医療と介護の連携」については、2市1町協働でやった方が、小さな地区ということもあり、効率的だろうということで、医師会、歯科医師会、薬剤師会の先生方にもご理解いただき、保健所、行政の皆さんにもご協力いただき連携するということです。昨日初めて親会議がありまして、様々な取り決めが決まりました。具体的には、最初の取り組みとしまして、「電子@連絡帳」の共同運用がまず1点、それに伴い「医療・介護資源マップの運用」、この2つはほぼ一緒の内容で、もう1つ大きな軸としまして最後の「多職種連携研修会」ですが、今年も開きたいと思っているところです。そして、この協議会の特徴は、2市1町のご協力を得て、行政の枠組みを超えて一緒にやっていただけるという非常に協力的な、清須市、北名古屋市、豊山町の皆さんのご協力と、保健所の圏域での連携を取れるということで、昨日オブザーバーで参加していただいた長寿医療研のM先生からも非常にいい取り組みではないでしょうかという評価をいただき大変喜んでいます。これからワーキンググループでやっていくことは、「レインボーネット」の活用を充実させていくことと、年末の「多職種連携研修会」を充実した形で今年も開きたいと考えています。今年には認知症について、長寿医療センターのW先生に来ていただき、勉強会を開く予定でおります。皆様のご協力、ご参加をよろしくお願いしたいと思います。

◎部会長

ありがとうございます。この地域での包括支援、3師会含めてサポートセンターの取り組みということですが、実際に看護されている立場で委員さん、いかがでしょうか。

○委員

ちょっと実感がないです。私の仕事レベルですと、北名古屋市、豊山町と、直接かかわることが今のところ、今までもなかったもので、どちらかといえば名古屋市内、稲沢、一宮、そのあたりのドクターから指示書をいただいて、ケアマネジャーと、ということはありませんが、この2市1町でということに関して、私はイメージがまだちょっとわからない状態です。明日、初めてのサポートセンターがコーディネートしてくださりステーションで集まる会があります。訪問看護ステーションという横のつながりはこの圏域ではなかったので、昨日協議会も正式に立ち上がり、いろんな意味で、私たちのレベルでの話になるなと思っています。

◎部会長

ありがとうございます。新しくなられたところで、まだこの地域がつかめてないかもしれませんが、委員さんいかがでしょうか。

○委員

「レインボーネット」はケースの事業者として活用していましたが、現在は活用していません。「レインボーネット」に関しては、直接お電話できないが、ちょっと連絡が取りたい時などは活用できるのではと思います。そういう意味でうまく活用できると良いと思います。多職種連携では、みんなが揃うのは大変そうですが、うまくできたらいいなと思います。

◎部会長

ありがとうございました。他にご意見はいかがでしょう。

○委員

確かにおっしゃる通りで、どうしても2市1町が細長いので、各ステーションのある導線上に仕事があるわけではなく、清須だと北名古屋市、豊山町に利用者がみえないのは当然で、それはそれとして、基本的には保健所若しくは二次医療圏の連携、今の流れとして連携していく必要があるので、お互い情報交換していただくだけでも決して悪いことではないと思います。連携してもらうことでステーションごとの得意分野とするところをまず知り合うことがとても大切なことと思います。お声かけするのでいろんな所へ出てきてくれれば、と思います。

◎部会長

ありがとうございます。他にはいかがでしょう。

○委員

歯科医師会です。在宅の方、介護の方を訪問診療する枠が決まっていて、介護度、通えない方が対象ですが、人数が限られてきます。重度の方はわりと施設に入所されており、在宅の方で要介護2、3、4くらいの方がどの程度の人数がみえるか分かりますか。訪問介護や訪問看護のサービスを使ってみえる方で、歯科の往診に対してどんな感じか、認識としてでも結構です。

○委員

要望のある方はいると思いますが、正直、内臓疾患や病気のある方は医師へとなります。歯については後手後手になりやすく、ケアマネジャーや関係者も認識が薄い印象がなきにしもあらず、という感じがします。

○委員

歯科医師に限らず、歯科衛生士が行うことも含めて考えると、掘り起こせば結構ニーズはあるのでは、と思います。

○委員

歯科受診したくても、段差が多かったりして通院できないこともあります。要介護4、5は往診を積極的に利用しています。自分の担当ケースでは3件あります。入れ歯を作り直したり、口内炎を直したりしてご飯が食べられるようになります。積極的に往

診を利用していますが、市内の先生に依頼することは少なく、金山などから来てもらっています。

○委員

「ケアマネ便利帳」に、医師会も歯科医師会も往診医が分かるように載せてあると思いますが、少なかったでしょうか。

○委員

往診専門の歯科医師がセールスに来るので、そこを利用させてもらっています。市内の先生にも依頼することはありますが、往診の専門のところが多くなりがちです。

○委員

医療では、予防医学で在宅へ関わることはなく、どこか悪いところがあって初めて関わりますが、歯科は口腔ケアも含めて、予防で関わります。食べられなくなって、入れ歯や、嚥下の問題、肺炎予防など、治療以上に予防でのニーズもあると思われます。そういった面で、この会で歯科の先生の取り組みを教えていただくと、互いに連携しやすいのでは、と思います。また、同じようなことを言えば、薬剤師会も、治療するとき、多くの方が血液がサラサラになる薬を飲んでいて、出血傾向がある薬はやめて欲しい場合など、薬剤師も介入していただく大きな要素になると思います。病院という建物の中のことを、幅広い地域のフィールドでやるということで、歯科医師会への、医療よりも歯科の方が幅広いニーズがあるのではと思います。

○委員

「医療・介護の資源マップ」のアクセス数が多いなと思ったんですが、関係機関なのか、市民かの別は分かりますか。

●事務局

市民かどうかの件数は分かりません。アクセス数のみです。

○委員

インターネットのマップを見て、質問したいという流れで、アクセスした市民の方から問合せが入るので、市民の方も見ています。

◎部会長

インターネットが大きなツールになってきているということですね。そのように「レインボーネット」もなるということないと思います。

○委員

1人暮らしで、インターネットをツールとして利用できない方を取りこぼさないようにするのも地域包括ケアシステムとして、非常に大切なことかと思っています。

○委員

「電子@連絡帳」の最初の部会から関わっています。使ってみたい、みようと思うケースもありましたけれども、やっぱり何がネックかと言いますと、医師に決めてもらうことかと思っています。

介護保険では、ケアマネジャーや他の事業所の連絡が多く、もちろん医師にも連絡を取ることにはありますが、セキュリティの低いものに流れていきやすいと思います。以前にFAXで、番号を間違えて誤送信したことがあり、「電子@連絡帳」ならそのような誤りがないので使いたいです。医師によってはまだ「電子@連絡帳」のことをご存じない方もあります。医師からケースに同意をもらってスタート、というのは変わらないですか。

◎部会長

2年間はモデルとして立ち上げということで、医師が患者さんのところで承諾書をいただいているということになります。実際には、在宅でケースによく関わっているのが訪問看護師やヘルパーだと思います。もう少し広く使っていくとすると、医師もケアマネジャー、訪問看護やヘルパーに連絡を取る際に使いたいという方も出てくると思います。この1年間にそういうケースを蓄積してもらうことが大切かと思っています。おっしゃる通り、医師会内にも「レインボーネット」についてほとんど認識を持たない医師もいますが、声を出していただいて、啓発していくことが必要と思っています。事業所にとっても使って連絡が取りやすく、利用している人が生活しやすい環境になるためにネットが使われるなら、ものすごく意味のあるものになります。誰かにつながることで意味が出てくるのは事業所によってかなり変わります。医療より介護に重きを置いている方が多いので、連携のために、FAXより密度が濃くて簡便で値段も少なくても間違いもなければ、ものすごく意味のある情報手段、と思います。

2年目ということで、もう少し枠を拡大していくということもありかと思いますが、事務局、いかがでしょうか。

●事務局

モデルケースも3件なので、もう少し時間がかかるかと思っています。「電子@連絡帳」や「医療・介護資源マップ」が利用しやすいものになるようにと思っています。

◎部会長

それでは、「尾張中部医療圏在宅医療・介護連携推進協議会」が立ち上がった、とのことで、同じ医療圏の関係機関で連携・協力しながら、地域包括ケアシステムの構築を進めていくということで、よろしいでしょうか。

<委員承認>

◎部会長

ありがとうございます。それでは、そのように進めていただくようにお願いします。

本日、西名古屋医師会の在宅医療サポートセンターの方もオブザーバーとしてお越しいただいています。昨年10月に開設されて、もうすぐ1年というところですが、相談内容や、活動の中で何かお感じになられていることなど、ご発言いただけたらと思います。

○オブザーバー

医療圏外の3次救急の病院より、がん末期で今後の通院困難、疼痛コントロール希望の方に在宅の先生を紹介しました。これまでに類似する事例が数件ありました。住民からの直接の相談など、実際の紹介に結びつかない事例もありましたが、これまでの相談で一番多い主疾患はがんでした。

地域包括支援センターより、独居だがここ数日で自力では動けなくなった方について、入院を含めた相談がありました。整形外科的な精密検査を希望されたため、S病院の救急外来に搬送していただき地域包括ケア病棟に入院しました。退院後も受診しています。その後、地域包括支援センターと市役所の方で施設入所の調整をとったとのことで、紹介状の依頼など支援しました。

病状によっては、H病院でも入院を含めた相談に乗って頂けるとサポートセンターで実施する会議にて合意を頂いています。入院を含めた相談であっても、希望する病院がなく、どこに相談してよいか分からない場合には平日の日中であればサポートセンターで対応し調整をするので、ケアマネジャーや訪問看護の方に周知を図っていく予定です。

◎ 部会長

ご家族からの相談が多いですか。

○ オブザーバー

医療圏外の3次救急の病院を聞かれることが多かったです。中には、話を聞いてほしいというご家族からの話もありました。

◎ 部会長

それでは、4その他になりますが、事務局から何かありますか。

● 事務局

次回は、協議会立ち上げ後の進捗状況などを議題として、2回目の委員会を12月頃に開催いたしたいと思っておりますので、よろしくお願ひ致します。

以上でございます。

◎ 部会長

その他、全体を通して何かありますか。統括する保健所のお立場でご活躍の委員さんから、ご発言をお願いします。

○ 委 員

最初の部長のご挨拶にもありました通り、2025年までに高齢者が増えてくるということで、先日、医療圏域の会議において、慢性期病床を減らしながら、在宅へ移行する方針が打ち出されました。高齢者が増え、在宅への移行が増えるということで、先ほどの在宅での歯科のニーズも間違いなく増えてくると思われまます。この地域は日本一小さな医療圏で、2市1町で構成されていますが、3市町とも始まったばかりです。県内全体でもいろいろなところでいろいろな取組がされていますが、試行錯誤を繰り返しながら、高齢化社会にどのように立ち向かっていけるのか各市町が試行錯誤しています。その中で、2市1町が協力して協議会を立ち上げて、研修会や情報交換ができるということは、実は県

	<p>内においては初めての事です。他の委員さんが言われたように、場所によってはその他の市との関わりが多い場合もありますが、この2市1町がそれぞれの施策の中で、広域でやった方が効果的、効率的なものもあります。社会資源マップはまさにそうではないかと思えます。保健所としても裏方として取組みを下支えができればと思えます。また、この部会で訪問看護ともつながり協議できることは大切なことと思えます。忌憚ないご意見をお聞きできればと思えます。今後もよろしくお願ひします。</p> <p>◎部会長 それでは、議題も全て終了しましたので、委員の皆さんからの様々なご意見をいただき、ありがとうございました。 今回の議事につきましては、すべて終了いたしました。 これをもちまして、清須市地域包括ケアシステム推進委員会在宅医療・介護連携推進部会を閉会いたします。</p> <p>本日は、円滑な進行にご協力頂きましてありがとうございました。</p> <p style="text-align: center;">署名委員</p> <p style="text-align: center;">署名 加藤 高行</p> <p style="text-align: center;">署名 山口 富美代</p>
<p>会 議 の 結 果</p>	<p>会議の経過に示したとおり</p>
<p>問い合わせ先</p>	<p>健康福祉部 高齢福祉課 052-400-2911 内線4331</p>